

## 北朝鮮による地下核実験に抗議する！

5月25日、北朝鮮は2006年10月に続き、2度目の核実験に踏みきり、同時に日本海へ向け短距離ミサイル3発を発射したことがマスコミで一斉に報じられています。私たちは、繰り返される北朝鮮の暴挙に対し、世界で唯一の被爆国の労働者として断固抗議すると共に、あらためて一切の核開発・保有に反対の意思を明らかにします。

今回の核実験は、米・オバマ大統領の「核廃絶」への強い意志を表明した演説や核拡散防止条約強化へ向けた国際社会の動きに逆行する行為であり、核のない平和な世の中を目指すために闘っている、すべての労働者・人民への挑戦です。断じて許すことはできません。

日本政府は、核実験に対し、北朝鮮の核計画放棄を義務づけた「安保理決議」に反する行為であり、国連で新たな制裁決議を早期に採択するよう働きかけていくこと、さらに独自の制裁措置を強化することなども検討していくことを明らかにしています。

ところで、北朝鮮核実験の報道にあわせて、新聞の片隅に、自民党国防部会が「敵基地攻撃能力の保有」「集団的自衛権の行使」「武器輸出3原則の見直し」などを盛り込んだ防衛計画大綱改定に向けた素案をまとめ上げたことが報じられています。何とも言えないタイミングです。まさに、北朝鮮による今年4月のミサイル発射や、今回の核実験を口実として軍事力増強を国民へ浸透させていくことが狙われているのではないのでしょうか。私たちは一切の戦争政策に反対します。